



Iwakuni City Topics

まちの話題

久杉橋完成記念式典

7月8日、周東町川越地区おそごえ久杉橋完成記念式典が行われました。
久杉橋は平成30年7月豪雨災害で甚大な被害を受けた同地区に、災害復興のシンボルとして、地元企業の旭酒造や地元自治会、山口県や岩国市が連携して整備したものです。

式典には福田良彦市長も出席し、「地域の自然にマッチし、曲線美が美しい久杉橋が末永く愛されるところにも、災害のない安寧な日々が過ごせることを願っている」との思いを語りました。

また当日は、久杉橋のデザインを手掛けた建築家の隈研吾氏の講演会も行われ、国立競技場で使用されている木と久杉橋で使用されている木は、同じ大きさの木が使われていることなどが紹介され、参加した建築関係者や地元の高校生は熱心に耳を傾けていました。





知って防ごう！ 消費者トラブル

6月3日、美川コミュニティセンターで「知って防ごう！消費者トラブル」が開催されました。講師の岩国市消費生活センターの職員と相談員から、高齢者の消費者トラブルや見守りのポイントについての話を聴きました。クイズ形式も交え、楽しみながら消費者トラブルの知識を学ぶことができました。



楽しみながら田植えを学ぶ

6月13日、周東町米川地区で田んぼアート田植えが行われました。田んぼアートとは、田んぼをキャンパスに見立て、稲の植え方や種類を工夫し、文字や絵を作り出すもので、米川小学校6年生が考えた、「2022年なかよく」の文字と虎の絵を描きました。児童たちは楽しそうに田植えをしていました。

Iwakuni City Topics | まちの話題



自分で作ったお米を食べよう！

6月12日、錦町の沼田で棚田米づくり体験がありました。会場は、耕作放棄地となった田を地元住民らが耕起復活させた美しい棚田で、参加者は、はだしで入る田の感触を楽しみ、地元の人に作業を教わりながら苗を植えていきました。これから草取り、秋の稲刈り、稲こぎまで一連の作業を体験します。



「今を生きる」 絵画展示会

6月3日～5日まで、由宇文化会館で岩国市由宇文化協会新陽会による第30回新陽展が開催されました。「今を生きる」をテーマに描かれた油絵は、それぞれの視点の「生」が鮮やかに描かれており、来場者を魅了しました。

展示会では自然に来場者同士が感想を語り合うなど、有意義な芸術鑑賞の時間を過ごしました。



もっと手話を 身近なものに

6月16日、本郷ふるさと交流館で、「あたたかい地域社会のために～楽しく手話を体験しよう～」が開催されました。手話通訳者の山根かおる氏が講師として手話について分かりやすく説明しました。参加者同士が手話で簡単にできるあいさつの仕方を学び、耳の聞こえない人との手話での接し方について学びました。



スタンドグラスを作ろう

6月20日、玖珂中央コミュニティセンターでスタンドグラス教室が開催されました。ハンダを使って、カットされたガラス片を組み合わせる作業を行った参加者は、慣れない作業に苦戦しながらも集中して作品を作り上げていきました。完成した作品は、どれも個性的でかわいらしい作品に仕上がっていました。



「フレイル予防」で健康をキープ！

6月22日、ハーモニーみわで管理栄養士の牧本侑加氏による「ヤクルト健康教室～フレイル予防～」が開催されました。健康と要介護の間にある虚弱状態を予防するため、筋肉を落とさない食事の取り方、日常生活に取り入れやすいフレイル予防体操などについて学びました。



映画から学ぶ 岩国の偉人「藤井整」

7月8日、岩国市民文化会館で国際理解講座が開催され、映画監督ジェフリー・G・チン氏の短編映画「リトルトーキョーLil Tokyo Reporter」の上映と講演が行われました。アメリカで人種差別撤廃のために尽力した周東町出身の藤井整氏を題材にした映画で、来場者は岩国縁の人物の活躍を改めて知ることができました。